

農商工連携等人材育成事業 [全国中小企業団体中央会採択事業]

【産地と消費地を結びつけ、地域や仕組みをプロデュースする新たなビジネス創造塾】

農商工連携プロデューサー

養成講座



by 
MIJP

<http://mijp.jp/noushoukou/>

日本の農林水産業のためには今、商品・サービスの開発だけではなく、産地と消費地を結びつけ、長期的な視点で地域や事業の仕組みをリデザインし、マーケットを創造していくことが求められています。この講座では、幅広い講師陣のもと、新しい農商工連携をつくりだすための知識や考える能力を高め、実地研修を通じた実践を学び、農商工連携におけるプロデュース能力の高い人材を育成します。



講座実施期間：6月4日～10月15日 (詳しい日程は中面をご覧ください)

講義研修：全39時間

スタジアムプレイス青山コンファレンスセンター(予定)

専門家や事業者を講師に招いての講座
事業計画立案ロールプレイング

実地研修：全16時間

千葉県いすみ市 ほか一箇所

就農取組み、農業施策、先進農業の視察
体験農業など

受講料：メイド・イン・ジャパン・プロジェクト正会員 無料 / 一般 ¥1,500/回 / 学生 無料

講師：鈴木浩氏 福島大学名誉教授

早田保義氏 明治大学教授

井尻弘氏 (株)生産者連合デコボン代表

山名清隆氏 NPO農商工連携サポートセンター理事

畦地履正氏 (株)四万十ドラマ代表

荻野淳也氏 (株)ライフスタイルプロデュース代表

佐倉朗夫氏 明治大学特任教授

緒方 大助氏 らでいっしょぼーや(株)代表

下川一哉氏 日経デザイン編集長

※実施講座順 ※講師は都合により予告無く変更となる場合がありますので、ご了承ください。

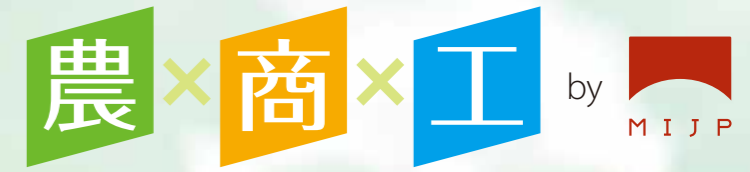
農商工連携等人材育成事業 [全国中小企業団体中央会採択事業]

【産地と消費地を結びつけ、地域や仕組みをプロデュースする新たなビジネス創造塾】

農商工連携プロデューサー養成講座

講座実施期間：6月4日～10月15日 講義研修：全39時間
スタジアムプレイス青山コンファレンスセンター(予定)

詳しい情報はこちらをご覧ください <http://mijp.jp/noushoukou/>



実地研修：全16時間 就農取組み、農業施策、先進農業の視察
体験農業など
千葉県いすみ市 ほかに箇所

スケジュール／講師紹介／セミナー概要

※日程・講師・講義内容・会場は変更となる場合があります。詳しくはお問合せ、またはホームページをご覧ください。 [ホームページ] <http://mijp.jp/noushoukou/>

●**第一回 6月4日(土) 鈴木 浩氏** 福島大学名誉教授 ■農商工連携の意義と研修の狙い / これからの地域づくりを学ぶ
14:00～17:30

かつて、都市と農山村は呼吸するかのように共存することで健全な社会を形成してきた。都市と農村のつながりを再評価し、技術や食文化等の地域独自の特性に着目し、新たな視点でとらえることで農商工連携を通じた地域の活性化のヒントを学ぶ。

●**第二回 6月11日(土) 早田 保義氏** 明治大学教授 ■農林水産業の未来を学ぶ(農林水産業の動向と課題)
14:00～17:30

植物工場、バイオマス等、日々進歩する農業技術によってこれからの農商工連携はどう変化するのか。里山再生、中山間地域におけるビジネス創出は農林水産業だけでなく地域社会にどのような影響を及ぼしていくのか。そんな農の未来や循環型社会の可能性について学ぶ。

●**第三回 6月18日(土) 井尻 弘氏** (株)生産者連合デコボン代表 ■新しい農業の実践・生産者からの活動(農産物流通構造)
14:00～17:30

(株)生産者連合デコボンは、地元千葉県近郊の農家を中心に、約100人の生産者から形成される流通販売組織。生産者が正当な利益を得るために、生産者が最終価格をコントロールできる仕組みの構築を目指している。生産者が元気になる、次の世代につなぐ農業について学ぶ。

●**第四回 6月25日(土) 山名 清隆氏** NPO法人農商工連携サポートセンター理事 ■都市生活者と農林水産業のつなぎ方(産地との協力体制)
14:00～17:30

群馬県嬭恋村で始まった「キャベツ畑の中心で愛をさげぶ」の仕掛人・山名清隆氏。農林水産業の六次産業化をサポートするNPO活動と同時に、サブカル的刺激が人々の記憶や感情に訴えかけるという発想のもと、様々な仕掛けを連発。人を動かす為の「本当に良いこと発見術」を学ぶ。

●**第五回 7月2日(土) 畦地 履正氏** (株)四万十ドラマ代表 ■循環型の地域づくり(地場産業のブランディング)
13:00～16:15(講義) + 16:30～18:00(ロールプレイング)

(株)四万十ドラマでは地域環境を第一に考え四万十の地域資源を生かしたものづくりの事業展開をしている。高知の地の利の悪さを逆手にとって四万十発の地域活性化モデルとして注目を集めている。四万十流密着産業の取り組みについて学ぶ。

●**第六回 7月9日(土) 荻野 淳也氏** (株)ライフスタイルプロデュース代表 ■事業プランの組み立て方(プロデューサー的思考方法獲得)
14:00～17:30

地域で新たな事業を展開するには、問題点を掘り起こし課題解決のための計画を立案すること、個々の力を集めて大きな事業にするためのファシリテーション能力を磨くことが必要となる。そんな事業化までの道筋を学ぶための講座。
・事業のプランニング(課題抽出とポジショニング、目標設定) ・ファシリテーション(会議の場づくり、会議の企画)

●**第七回 7月16日(土) 佐倉 朗夫氏** 明治大学特任教授 ■アグリビジネスの展開(農業・農地のあり方の本質)
14:00～17:30

新しい産業を生み出すためには栽培技術や成り立ちを基礎から学ぶことが重要であり、それがコンセプトの基本になる。農業を理解し、アグリビジネスの基礎を身につけるために学ぶ講座。
・農業、農産物の栽培や成り立ちに関する基本 ・加工特産品の開発、農産物の販売

●**第八回 7月30日(土) 緒方 大助氏** らでいっしゅぼーや代表 ■食品における流通／運営／管理(IT市場の動向を把握)
14:00～17:30

いつでも安心・安全に安定した食品を消費者に供給するためには? 流通や運営管理における知識と能力を身につけるために有機・無添加食品の通信販売の先駆者から直接学ぶ講座。
・食品の流通システム・生産供給体制 ・認証ブランド化・リスク管理 等

●**第九回 8月6日(土) 下川 一哉氏** (株)日経BP 日経デザイン編集長 ■デザイン／ブランディング
14:00～17:30

いいものをつくっても容易に売れない時代、いかに商品の魅力を顧客に伝え気に入ってもらえるのか。売れる商品・売り場づくりやブランド化に関する知識と手法を学ぶ講座。
・商品開発と売り場づくりに必要なデザインとは?(コンセプトとブランドの価値を伝えるパッケージデザインと店頭デザイン) ・デザインのロールプレー(パッケージとPOPづくりの体験と発表)

●**第十回 9月10日(土) 下川 一哉氏** (株)日経BP 日経デザイン編集長 ■コミュニケーション戦略(話題作り・PR戦略)
14:00～17:30

事業規模が小さくても効果が高いコミュニケーションの方法とは? 情報を発信するだけでなく、受け手とどのように交流し展開すればよいのか。伝える、育てるコミュニケーションについて学ぶ講座。
・農商工連携事業に欠かせないコミュニケーション戦略とPRとは?(顧客とのコミュニケーションとメディアとのコミュニケーション) ・PRのロールプレー(ニュースリリースづくりの体験と発表)

●**実地研修1 9月上旬 実地研修** □いすみ市の農的くらしと地産地工
9:00(集合)～19:00(解散) (実地研修6時間/日帰り) ※現地までの交通費は実費となります。

千葉県いすみ市における、地産地工の農業施策と今後の展望などを研修。観光物産施設、取組商品、就農取組の視察や、体験農業を行う。また、現地のリーダーからこれまでの取組や現在抱えている課題をヒアリング。
協力:『NPOいすみライフスタイル研究所』 <http://www.isumi-style.com/>

●**実地研修2 9月下旬 実地研修** □米沢市の農商工連携を考える
9:00(集合)～翌19:00(解散) (実地研修10時間/現地一泊) ※現地までの交通費および宿泊費は実費となります。

山形県米沢市での研修。先進農業の視察と自治体等の農業施策や今後の展望を学ぶ。観光物産施設、加工品開発等の説明を受け、これまでの取組や現在抱えている課題のヒアリングを行う。

●**第十一回 10月8日(土) 講座研修の成果としての事業計画の立案実習**
13:00～18:00(ロールプレイング・ワークショップ)

これまでの講習と実地研修で学んだことについて振り返りを行う。更に、実地研修をした地域の課題を抽出し、課題解決型の新事業実現のための具体的な提案をグループor個人で検討し、ビジネスプランとして完成させる。

●**第十二回 10月15日(土) 鈴木 浩氏 / 早田 保義氏 / 下川 一哉氏** ■プレゼンテーション・講評
14:00～17:30

各グループor個人で作成した事業計画についてプレゼンテーションを行う。各講師からそれぞれに講評を頂戴し研修全体のプチセミナーを開催する。最後に一定のカリキュラムを終えたものには修了式を開催する。

※都合により、内容を変更する場合がございます。ご了承ください。 ※先着順により、定員になり次第締め切らせていただきます。ご了承ください。 ※セミナールーム内での飲食はNGの場合がございます。 ※セミナー後に懇親会を行います。懇親会会場は決まり次第でお知らせいたします。 ※修了証の発行は講義研修18時間、実地研修6時間以上の受講が必要となります。 ※既定時間数の出席を基本としますが、単一講座のみの受講も可能です。詳しくはお問合せください。 ※本講座で立案されたプランをもとに、来年度以降継続的に取り組むための活動を支援します。 ※お問合せ: info@mijp.jp



メイド・イン・ジャパン・プロジェクトは日本のモノづくりを応援しています。

ニッポンを知ると、もっと日本が好きになる
好きになると、おせっかいが焼きたくなる。

そんな想いを実現できる場がメイド・イン・ジャパン・プロジェクトです。
狭いニッポンとはいえ、普段は離れてしまっているモノづくりの現場と私たちユーザー。
世界に誇る日本の技術や美的センスは、まだまだ知らない事がいっぱい。
そして、「モノづくり」は今こそ応援を必要としています。
未来へこの文化を伝えるためにも、もっとニッポンと遊びましょう!

特定非営利活動法人、メイド・イン・ジャパン・プロジェクトは、「100年続くモノづくり企業の輩出」を目指して活動を行うNPO法人です。メイド・イン・ジャパンの継承と発展と日本の生活文化のアイデンティティーを確立するため、モノづくりとネットワークの仕組みを構築し、地域文化の活性化を促す活動を行っています。

● 事業内容

交流支援事業

経営支援事業

普及啓発事業

● 活動内容

多くの方々(生産者・デザイナー・ショップ・一般等)、各産地を繋ぎ、情報交換を行い、問題点、現状を浮き彫りにして、それらを共有する。また、ネットワーク化した小売店舗から、作成したヒアリングシートを元に、分析した消費者のニーズ、動向を定期的に提供していく。
各製造メーカーの現状を分析し、各メーカーの弱点を浮き彫りにすることで、その弱点を強化する為のワークショップやセミナーを開催していく。
新規開発プロジェクトが始まるまでのモチベーションを固め、そこに対して必要であろうスキルをここで強化し、プロジェクトを成功に導く為の準備をする。ここで獲得したスキルを元に、行政が行うプロジェクトに参画する、あるいは、自分達で新規プロジェクトを立ち上げる。そのための、準備機関として、産地を活性化させるための機関として活動する。そして日本のモノづくりから流通までが活性化し世界に向けて情報を発信できるようにする。

【メイド・イン・ジャパン・プロジェクトは、正会員／サポーター会員を募集しています】

◇サポーター会員:無料 ◇ビジネス会員:年会費50,000円 ◇個人会員:年会費10,000円 ◇入会金無料

入会お申込
お問合せ先

特定非営利活動法人メイド・イン・ジャパン・プロジェクト 東京事務局
東京都港区南青山5-7-17 青山小原ビル7階
[e-mail] info@mijp.jp [WEB] http://mijp.jp/ [FAX] 03-5468-3131

----- [商品開発プロデューサー養成講座申込み用紙] -----

WEBまたはFAXにて下記の内容をご記入の上、お申し込みください。
NPO法人メイド・イン・ジャパン・プロジェクト行

FAX. 03-5468-3131
WEB http://mijp.jp/noushoukou/

参加者名:	会社名・団体名:
TEL:	e-mail:

※インターネットからのお申込みは、[http://mijp.jp/noushoukou/]から受け付けております。※ご記入いただきました個人情報、今回のセミナーの連絡、また同様のセミナー等に関する連絡のみに使用いたします。※修了証の発行は、合計講義研修18時間以上、実地研修6時間以上の受講が必要です。※既定時間数の出席を基本としますが、単一講座のみの受講も可能です。詳しくはお問合せください。